

土がよくなると肥料の力は生かせない

プレミアム 土の素 (及び 従来土の素) を使った赤玉土の改良法

……有機リン酸の効果と微生物の力で健全かつ力強い生育をする土づくりができる

赤玉土のココを改良

赤玉土は「有機物を含まないヤセた土」「リン酸の吸着固定が激しくリン酸の効かない土」「酸性土」です。
リン酸不足が起きやすく「葉が巻く」「葉がタレ下がる」「葉が黒くなる」「幹が太らない」「花くされが出やすい」などをまるごと改良する。



材料及び配合割合



赤玉土75～80リットルに対する使用量

- ①プレミアム土の素 6.5kg 1袋
(または土の素14リットル 1袋)
- ②米ヌカ 7～8リットル
- ③モミガラくん炭 5～7リットル

積み込み後5日後

気温が低い地方では微生物の栄養源として働き増殖を促すために
糖蜜 400～500倍
砂糖 10リットルの水に30～50グラムを使用するとよい。



改良完成



(注) 完成まで3～4週間必要です。
ミジンは抜かないで培養土に配合します。

菌が十分に増殖し赤玉土に有機物を取り込み肥沃化している。



厚さを均一にならすことで水のしみ込みを平均にする。



掛け過ぎに注意しながら水を均一にしみ込ませる。「透水源」2000～3000倍の使用がおすすめ。



水が下までしみ込んでいるか確認する。たまるほどかけると赤玉がくずれやすくなる。



各種材料を全体に広げてのせる。



シートの角を持って引き寄せる。④の材料が転がりながら手前にくる。次に反対側の角を持って反対側に引き寄せる。④の材料を4すみをもち引き寄せ転がすことで楽に均一に混ぜられる。



④の材料を均一に混ぜ合わせたら終了です。
中心部分が混ぜ残しが出る場合があります。スコップ等で混ぜ⑤⑥をくり返します。



場所があればシートにくるみ放置でもよい。菌の増殖が進み改良が始まります。
(注) 空気の流通が必要です。
密閉した容器類は不可です。



ドノウ袋に入れ放置でもよい。冬期は保温の為にシートなどを掛けておきます。雨除けは必要です。

プレミアム土の素と従来土の素との違い

従来の土の素は1袋で赤玉土75～80リットルを改良する為に見合ったリン酸及び菌体栄養分等が配合されています。
“プレミアム土の素”は培養土約250リットルに見合うリン酸、その他栄養分を配合してあります。
従来の土の素と比べると各種の栄養分は2～2.5倍の配合量となっております。
さらに最上級の“天然マグネシウム”を配合し光合成を高めることで生育促進の効果を図っています。
特に赤玉土の改良効果を高める為の泥炭は高級化を図り、赤玉土の肥沃化や根張りや生長力の向上など全体的に性能を高めています。
さらに病害虫の被害を軽減する効果も高めています。

おすすめ!

改良済赤玉土

この改良法により完成した改良赤玉土です。
栽培の鉢数が少ない場合におすすめです。



15リットル入り